

礼儀とは

(社)日本 ITF テコンドー協会 理事長 岸玄二

おはようございます。

本日も心のあり方についてお話させていただきます。

皆さんは礼儀とは何かご存知でしょうか？

物事は一言で言い表せなければ理解しているとは言いません。礼儀とは？という問いに一言で答えることができるでしょうか。

中々難しいと思います。

私は少し前まで礼儀とは『敬意を伝えるための作法』と考えていました。

しかしながら道場において正しく礼が出来る者、挨拶が出来る者が周囲の方から”礼儀正しい人”という評価を受けているかということ、そうではありません。

私の理解に誤りがあると思わされます。

そこで今日は礼儀について考えてみたいと思います。

まず漢字の成り立ちから考えてみます。

『礼』とは作法を表します。では『儀』とは何でしょうか。簡単に言いますと『儀』とは”正しさ”です。

次に実際の例を挙げてみましょう。

皆さんは出稽古に行くことはあるでしょうか？

その時にまず相手の道場の道場長に許可をいただくとします。許可をいただいたら出稽古に行けるというわけです。しかしこのプロセスには”礼儀正しくない”部分があります。それは自分の先生への配慮です。先生は道場生に対して思い入れがあります。その先生に対して何も断らずに出稽古に行くことは正しいあり方でしょうか。自分の先生に対しても許可をいただくことは必要かと思えます。実際にこのプロセスを怠り、揉め事に発展した例もあります。無断で行かれては不快に思うのは当然かと思えます。

別の例として今皆さんは整列しています。その肯定においてお喋りをしながら並ぶことはどうでしょうか？いくら道場で礼儀作法を正しく行ってもその方は”礼儀正しくない”となってしまいます。この場合ですと運営側への配慮が足りないと思われれます。速やかに指示に従い、大会運営を円滑に行っていただく配慮が必要です。

またこれが有段者であればどうでしょう。”段位”とは協会から授かるものです。そこには一定の思いがあります。有段者としてふさわしいあり方を協会として願っています。この場合は協会に対しての配慮が足りないと言えます。

ここまでのことから礼儀というものを考えてみると礼儀とは『人と正しく繋がること』と思えてきます。自分と繋がっている人に対して正しくいられることが礼儀正しいということではないでしょうか。

では”何”で繋がるべきでしょうか。

それは”感謝”と”敬意”です。この2つが無い者に礼儀は身に付きません。

では感謝と敬意の心を身に付けるにはどうすればよいのか。

それに対して2つ提案させていただきたいと思います。

一つはまず気付くことです。人間とは気付くか気付かないかで大きく人生は変わってきます。

まず感謝について、自分が感謝することができるということを気付くには真逆を知ると良いと思います。

感謝の対義語となると”怨嗟”などが出てきますが、それによって気付くかという気付ききません。もっと実用的な部分で提案させていただくと、感謝の反対は”当たり前”です。皆さんは今大会に参加していますが、大会があることは当たり前でしょうか？

今日参加するためにお金を支払っていますが、それをお父さんお母さんが支払うことは当たり前でしょうか？

家に帰れば風呂もあり、ご飯も出てくるでしょうがそれはどうでしょう？

感謝できることはどんどん見えてくると思います。

次に敬意について、こちらにも敬意が失われる時を知ることによって敬意に気付けるかも知れません。敬意が失われる時は”自分が大きくなったとき”です。

例を上げると先日ヨーロッパ選手権が開催されました。その中で優勝した選手が国旗を持ってコート内を走り回っています。嬉しいのですがまだ相手選手がコート内にいます。審判と本部席が何か話をしているようですがその間を横切っています。

嬉しいのは分かるのですが相手への、そして審判への敬意に欠けるのではと思っておりました。この場合は”嬉しい”が大きくなりすぎて敬意を欠く結果となったわけです。

先ほどの整列中のお喋りも同じことです。喋りたい欲が大きくなり敬意を欠く結果となります。

自分の感情が大きくなった時、改めて自分を見れると良いですね。

二つ目は実際に行動することです。

いつもお伝えしております、武道を学ぶ上で重要な考え方の一つは”行いには心が伴う”という考え方です。我々は道場にて正しい行い、整った行いを繰り返すことで整った心を作り上げていきます。

この場合ですと感謝は”ありがとう”と言えるかどうか、敬意は返事を”ハイ”と言えるか、頭を下げることができるか、その行いを繰り返すことと言えます。

何事も本質を捉えなければ、うわべだけのものになってしまいます。

礼儀とは”感謝”と”敬意”の心があって始めて身に付きます。

本日は当団体の大きな価値観であります礼儀についてお伝えさせていただきました。

ありがとうございました。

2022年5月15日

第8回三重県テコンドー選手権大会にて